



第22講 接続詞(2)

従属接続詞②

副詞節を導く that

節をつくるものの表

	(名)	< 形 >	[副]	
節	what (S') V'	関代 (S') V' 関副 S' V' 前+関代 S' V'		関係詞節
	that S' V' whether S' V' if S' V'		that S' V' whether S' V' if S' V' その他の従接 S' V'	従属接続詞節
	疑問詞 (S') V'			間接疑問文

 S,O,C,目,同格

 名詞を修飾

 名詞以外を修飾

that

→ ① 名詞節 (that S'V'...)
従属接続詞 「S'がV'だということ」

→ ② 形容詞節 <that

関代・関副 *和訳には出てこない

→ ③ 副詞節

従属接続詞 「S'がV'する/できるように」

A { [so that S'助 V'...]
[in order that S'助 V'..]

従属接続詞 「その結果 S'が V'」

B [,so that S' V'...]

従属接続詞 「とても~なので S'は V'」

C { so.....[that S'V'...]
such...[that S'V'...]

従属接続詞 「S'がV'するので/するなんて」

D S V C [that S'V'...]

③ 副詞節を導く従属接続詞の that

A. so that S' will V' ... 「S'がV'するように」
so that S' may V' ... 「S'がV'するように」
so that S' can V' ... 「S'がV'できるように」

in order that S' will V' ... 「S'がV'するように」
in order that S' may V' ... 「S'がV'するように」
in order that S' can V' ... 「S'がV'できるように」

入試ではこう出る！

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

We started early () we could get good seats.

(a) before (b) so that (c) as long as (d) so as to

(例文) so that 節の働きに注意して読もう！

● Mr.Sakaki writes his textbook,

S V O

[so that his students will understand it with ease.]

M 従接 S' V' O' M'

もう解けるかな？

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

We started early () we could get good seats.

(a) before (b) so that (c) as long as (d) so as to

B. ,so that S' V' ... 「その結果、S'がV'」

(例文) ,so that 節の働きに注意して読もう！

● She overslept, [so that she missed the bus.]

S V M 従接 S' V' O'

(彼女は寝坊した。その結果、バスに乗り遅れた。)

C. so ~ that S' V'...

「とても～なので S'は V'」

「S'が V'するほど～」

入試ではこう出る！

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

John and Tom were () good friends that they used to play together in the park after school in their elementary school days.

(a) as (b) such (c) too (d) very

● There were so many people on the train
 《many + CNs》

M V S M

[that | couldn't move an inch.]
 従接 S' V' M'

M

(電車には非常に人が多かったので全く動けなかった。)

● He drank so much beer [that he threw up.]
 《much + UN》 従接 S' V'

S V O M

(彼は非常に多くのビールを飲んだので吐いた。)

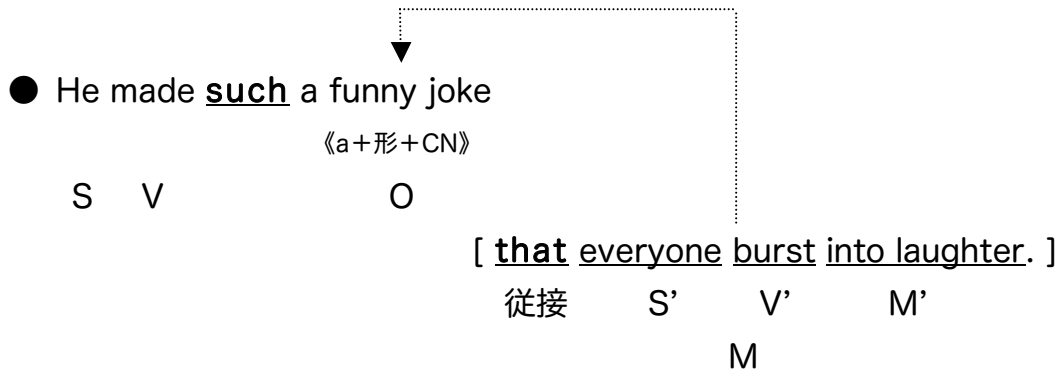
D. such ~ that S'+V'+ . . .
 「とても～なので S'は V'」

such ~ that S'V' …構文において、such の後ろにくるものは

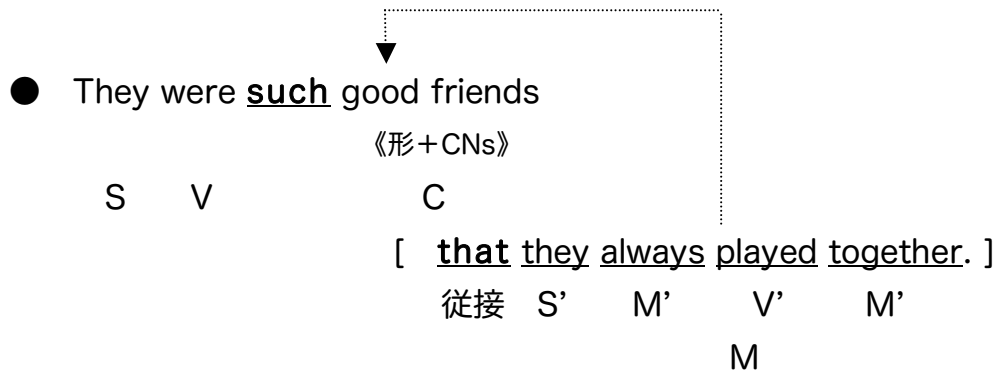
such { a(n) 形容詞 CN
 形容詞 CNs
 <much、many 以外>
 何もなし } that S'V'

の3種類です。

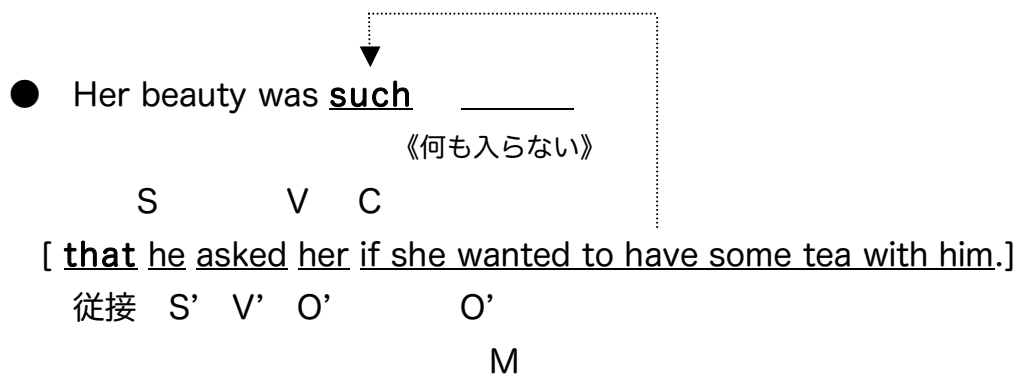
(例文) such ~ that 構文に注意して読もう！



(彼は非常に面白いジョークを言ったのでみんなどっと笑った。)



(彼らは、とても仲のいい友達どうしだったのでいつも一緒に遊んだ。)



(彼女はとても美しかったので彼はお茶に誘った。)

入試ではこう出る！

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

John and Tom were () good friends that they used to play together in the park after school in their elementary school days.

(a) as (b) such (c) too (d) very

E. S V C that S' V'

S V C [that ...]

<意識系>

sure 「・・・だと確信している」
convinced 「・・・だと確信している」
aware 「・・・に気づいている」
unaware 「・・・に気づいていない」
conscious 「・・・を意識している」
ignorant 「・・・を知らない」
afraid 「(残念ながら)・・・だと思う」
など

<感情系>

proud 「・・・を誇りに思う」
ashamed 「・・・を恥ずかしく思う」
glad 「・・・を嬉しく思う」
surprised 「・・・なので驚く」
など

<判断系>

crazy 「・・・なんて気が狂っている」
stupid 「・・・なんて馬鹿だ」
など

(例文) that 節が前のCを修飾することに注意して読もう！

● I am sure [that we will succeed in this business.]
S V C M 従接 S' V' M'

([私たちは この事業で 成功する と]、私は 確信して いる。)
M S' M' V' 従接 S C V

● I am proud [that you have passed the test.]
S V C M 従接 S' V' O'

([あなたが そのテストに 合格した ので]、私は 誇りに思っ ている。)
M S' O' V' 従接 S C V




● Are you crazy [that you should go out in this storm]?
V S C M 従接 S' V' M'

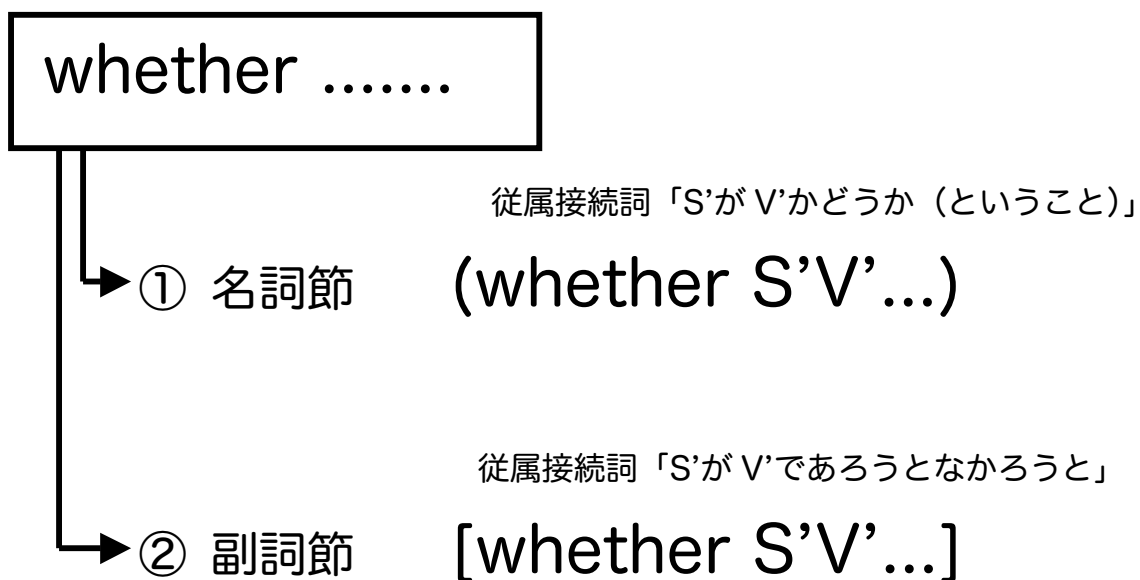
([この嵐の中 出かける なんて]、お前は 気が狂っ ているのか。)
M M' V' 従接 S C

従属接続詞③

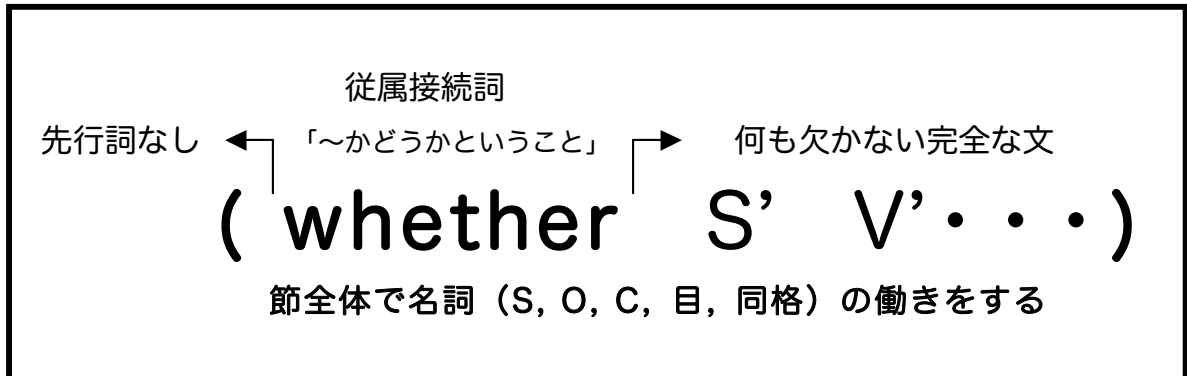
whether、if

節をつくるものの表

	(名)	< 形 >	[副]	
節	what (S') V'	関代 (S') V' 関副 S' V' 前+関代 S' V'		関係詞節
	that S' V' whether S' V' if S' V'		that S' V' whether S' V' if S' V' その他の従接 S'V'	従属接続詞節
	疑問詞 (S') V'			間接疑問文
	 S,O,C,目,同格	 名詞を修飾	 名詞以外を修飾	



① 名詞節を導く従属接続詞の whether



(例文) whether 節全体で名詞の働きをしていることに注意して読もう！

① whether 節全体が S (主語) の働き

● Whether you succeed or not depends upon your effort.

従接 S' V'
V
M

S

= It depends upon your effort whether you succeed or not.

S'
V
M
従接 S' V'
S

《形式主語構文》

(君が成功するかどうかは君の努力にかかっている。)

② whether 節全体が O (他動詞の目的語) の働き

- | | | |
|---|--------|---|
| I | wonder | <u>whether you can help me.</u>
従接 S' V' O' |
| S | V | O |

- ≡

I	wonder	<u>whether or not you can help me.</u> 従接 S' V' O'
S	V	O

- =

I	wonder	<u>whether you can help me or not.</u> 従接 S' V' O'
S	V	O

(意訳 私を助けてくれないかなあ。)

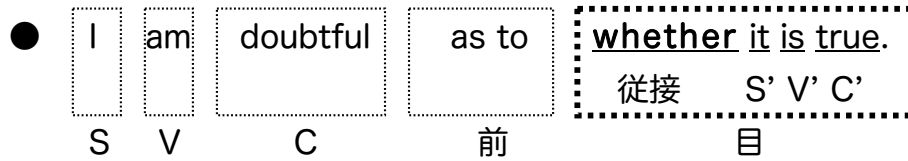
←直訳 私は、あなたが私を助けてくれるかどうかと思っている。

③ whether 節全体が C (補語) の働き

- | | | |
|-------------|----|---|
| The problem | is | <u>whether he will lend us the money.</u>
従接 S' V' O' O' |
| S | V | C |

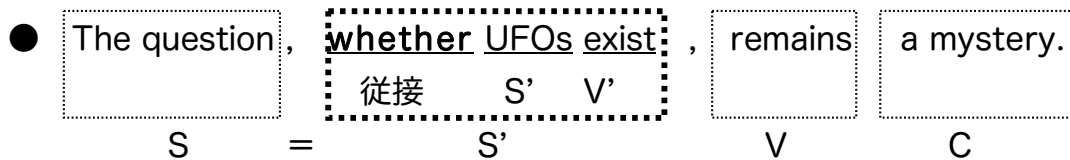
(問題は彼がそのお金を貸してくれるかどうかということだ。)

④ whether 節全体が目（前置詞の目的語）の働き



(私はそれが本当かどうか疑わしく思う。)

⑤ whether 節全体が同格の働き



(UFO が存在しているのかどうかという問題は謎のままである。)

② 副詞節を導く従属接続詞の whether



(例文) whether 節全体で副詞の働きをしていることに注意して読もう！

- [Whether you like it or not],
M 従接 S' V' O'
- ↓
- you will have to study English sooner or later.
S V O M
-

(意訳 好む、好まざるにかかわらず、遅かれ早かれ英語を勉強しなくてはならないだろう。)

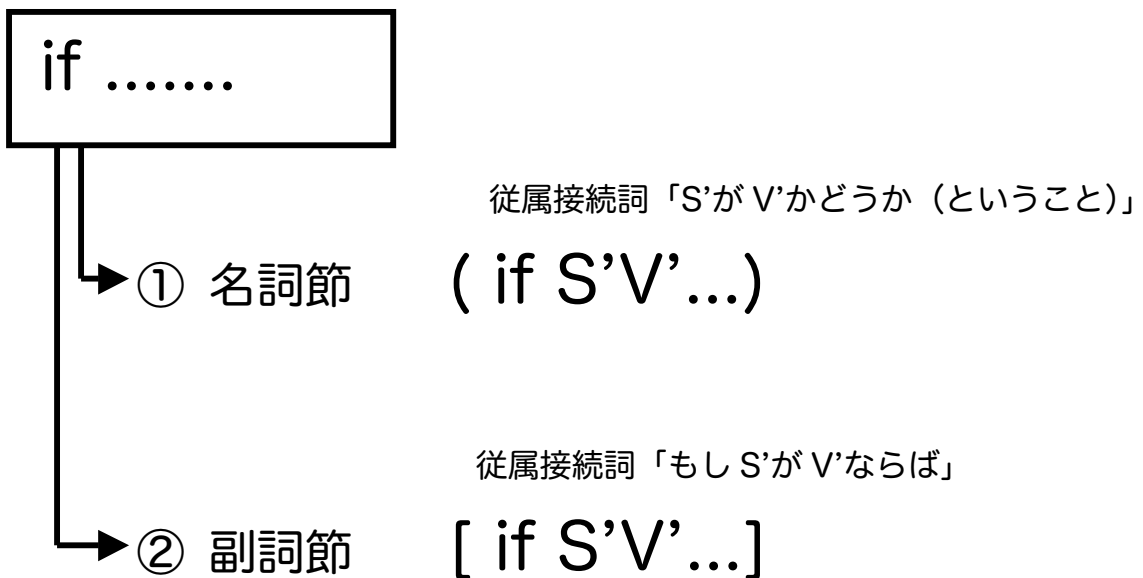
←意訳 あなたがそれを好きであろうと、なかろうと、遅かれ早かれ英語を勉強しなくてはならないだろう。)

節をつくるものの表

	(名)	< 形 >	[副]	
節	what (S') V'	関代 (S') V' 関副 S' V' 前+関代 S' V'		関係詞節
	that S' V' whether S' V' if S' V'		that S' V' whether S' V' if S' V' その他の従接 S'V'	従属接続詞節
	疑問詞 (S') V'			間接疑問文

↓
↓
↓

S,O,C,目,同格 名詞を修飾 名詞以外を修飾



① 名詞節を導く従属接続詞の if

先行詞なし ← 「~かどうかということ」 → 何も欠かない完全な文

(if S' V' . . .)

節全体で名詞 (O) の働きをする。
* S, C, 目, 同格になることはできないので注意

(例文) if 節全体で名詞の働きをしていることに注意して読もう！

① if 節は S (主語) にはなれない

×

if	you	will	succeed	depends	upon	your	effort.
従接	S'		V'				
	S			V			M

×

It	depends	upon	your	effort	if	you	will	succeed.
					従接	S'		V'
S'		V		M				S

③ if 節は C (補語) にはなれない

× The problem is if he will lend us the money.
S V C

(問題は彼がお金を貸してくれるかどうかということです。)

④ if 節は目 (前置詞の目的語) にはなれない

× I am doubtful as to if it is true.
S V C 前 目

(私はそれが本当かどうか疑わしく思う。)

⑤ if 節は同格にはなれない

× The question if UFOs exist, remains a mystery.
S = S' V C

(UFO が存在しているのかどうかという問題は謎のままである。)

② 副詞節を導く従属接続詞の if

先行詞なし ← 「もし~ならば」 → 何も欠かない完全な文
[if S' V' . . .]

節全体で副詞 (M) の働きをする。

* V' の時制は未来のことでも現在形、未来完了のことでも現在完了形

(例文) if 節全体で副詞の働きをしていることに注意して読もう！

● [If it rains tomorrow], we'll postpone the baseball game.




従接 S' V' M' S V O

(もし明日雨が降れば、野球の試合は延期します。)

従属接続詞④

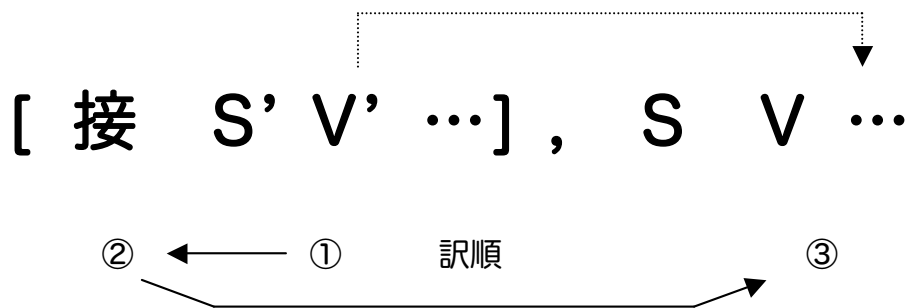
時を表すもの

節をつくるものの表

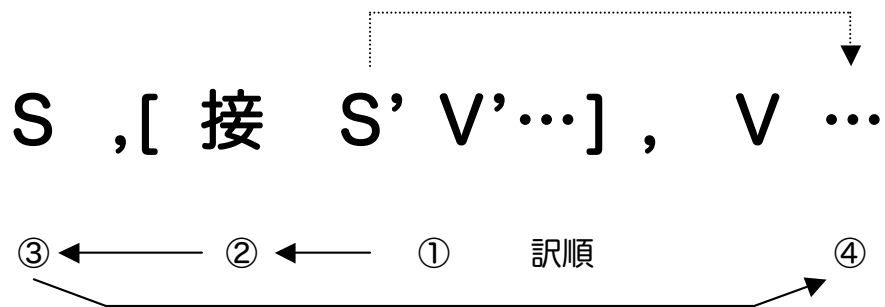
	(名)	< 形 >	[副]	
節	what (S') V'	関代 (S') V' 関副 S' V' 前+関代 S' V'		関係詞節
	that S' V' whether S' V' if S' V'		that S' V' whether S' V' if S' V' その他の従接 S'V'	従属接続詞節
	疑問詞 (S') V'			間接疑問文
	 S,O,C,目,同格	 名詞を修飾	 名詞以外を修飾	

従属接続詞を含む文の訳す順序

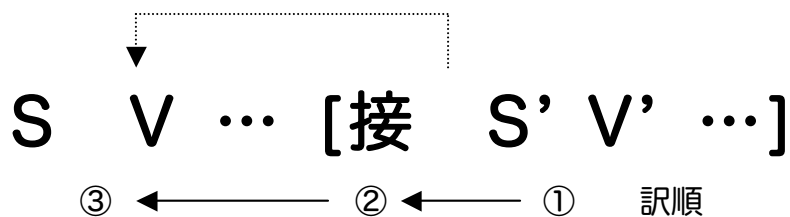
① 従属接続詞節が文頭にきた場合



② 従属接続詞節が文中に挿入された場合



③ 従属接続詞節が文末にきた場合



*** 基本的に主節は後で訳すことに注意！**

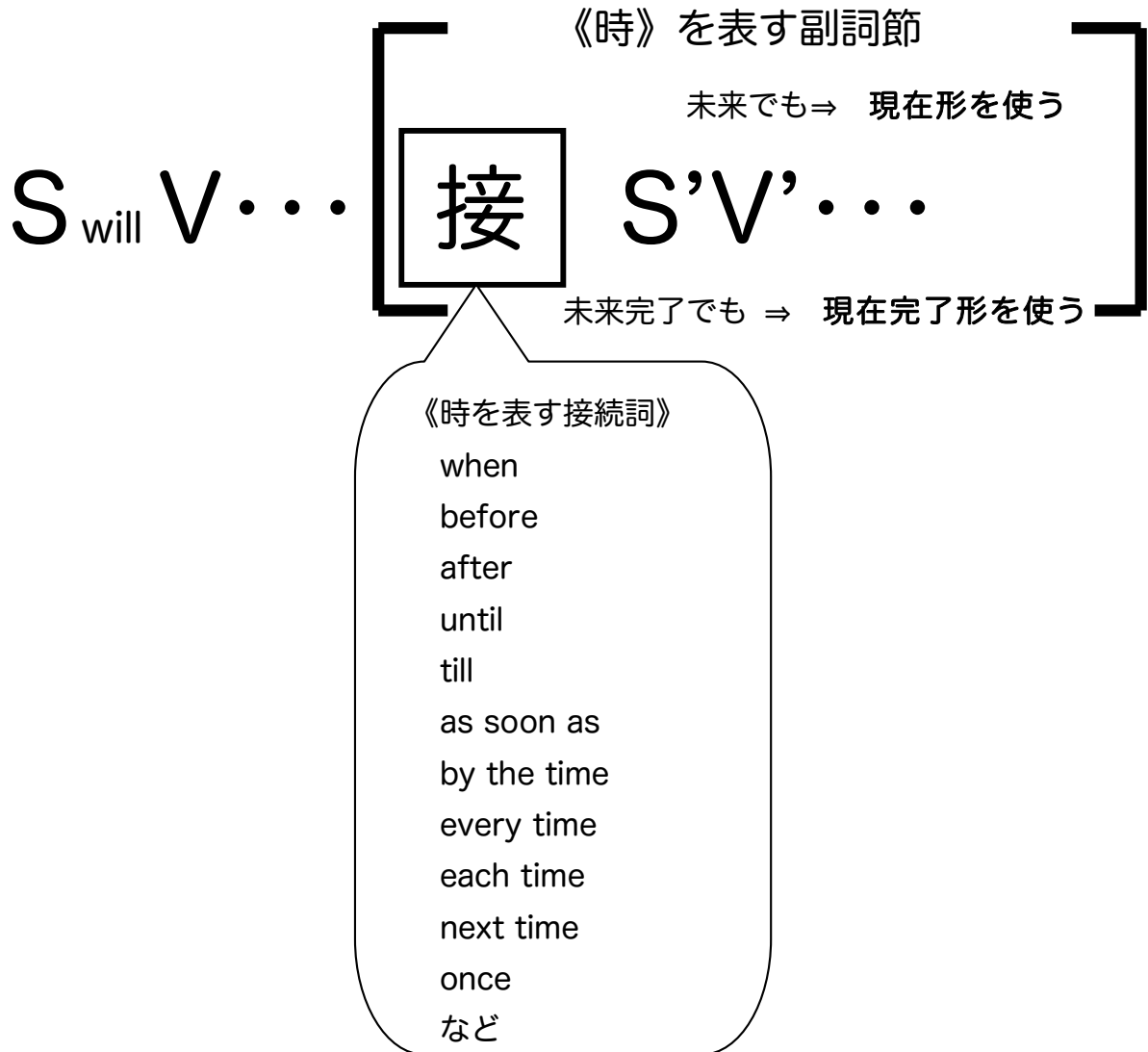
その他の従属接続詞の表

	(名)	< 形 >	[副]
節	that S' V' ... (~ということ)		that S' V' ...
	whether S' V' ... (~かどうか)		whether S' V' ... [~であれ~であれ]
	if S' V' ... (~かどうか)		if S' V' ... [もし~ならば]
			<u>その他の従接 S'V'</u>
			<時>
			<条件>
			<理由>
			<逆接>
			<対比>
			<目的>
			<比例>
			<様態>
			<比較>
			<距離・範囲>
			<期間・条件>
	☝ S,O,C,目,同格	☝ 名詞を修飾	☝ 名詞以外を修飾

その他の従属接続詞の表（時を表すもの）

	(名)	< 形 >	[副]
節	that S' V' ... (～ということ) whether S' V' ... (～かどうか) if S' V' ... (～かどうか)		that S' V' ... whether S' V' ... [～であれ～であれ] if S' V' ... [もし～ならば] <u>その他の従接 S'V'</u> <時> when before after until till as soon as by the time every time each time next time since once など
	☞ S,O,C,目,同格	☞ 名詞を修飾	☞ 名詞以外を修飾

時を表す従属接続詞節のいろいろ



<超頻出！>

時を表す副詞節の中の動詞は、
表す意味が未来のことであっても、現在形を使い、
表す意味が未来完了のことであっても現在完了形を使う！

《時》を表す副詞節

未来でも⇒ 現在形を使う

接

S'V'...

S_{will} V...

未来完了でも ⇒ 現在完了形を使う

《時を表す接続詞》

When

Before

After

Until

Till

As soon as

By the time

Every time

Each time

Next time

Once

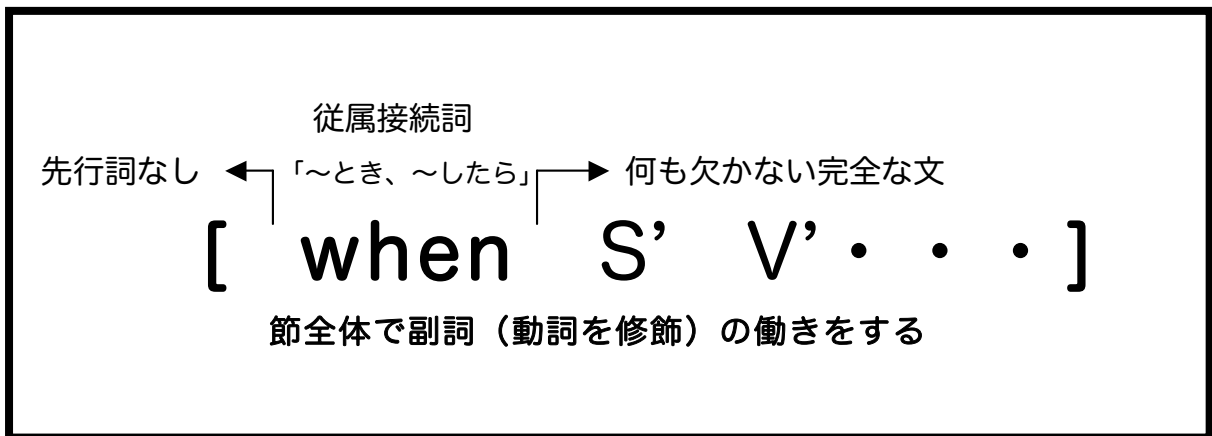
など

(例文) when が形容詞節を導いていることに注意して読もう！

- The day will soon come < when you will regret saying so > .
S V M 関副 S' V' O'

(<あなたがそういったことを後悔する>日がすぐに来るでしょう。)

(c) when が副詞節を導く場合



(例文) when が副詞節を導いていることに注意して読もう！

- I will do my homework [when I get home].
S V O M 従接 S'V' M'

([家に着いたら]宿題をします。)

《注意》

この構文では、when 以下が時を表わす副詞節なので、
内容が未来のことでも現在形を使わなければならない。

② before 「～する前に」「～しないうちに」

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

It will be some time () he recovers from his illness.

(a) after (b) when (c) before (d) as

(例文) before が副詞節を導くことに注意して読もう！

- It won't be long [before he recovers.]
S V C M 従接 S' V'

(意訳 間もなく彼は回復するだろう。)

←直訳 彼が回復するまでは長くないだろう。

《注意》

この構文では、before 以下が時を表わす副詞節なので、
内容が未来のことでも現在形を使わなければいけない。

- × It won't be long [before he will recover.]
S V C M 従接 S' V'

- You must not go home [before you finish this job.]
S V M M 従接 S' V' O'

(意訳 この仕事を終えないうちに家へ帰ってはいけない。)

←直訳 この仕事を終える前に家へ帰ってはいけない。

《注意》

「終えない」という日本語にだまされて、

You must not go home **before** you don't finish this job.

としないように。この文は誤り。

Q 次の英文の空所に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

It will be some time () he recovers from his illness.

(a) after (b) when (c) before (d) as

③ after 「～した後で」

(例文) after が副詞節を導くことに注意して読もう！

● I will go out [after I finish my homework.]

S V M 従接 S' V' O'

([宿題を終えたら]私は、外出します。)

④ till = until 「～するまで (ずっと)」

(例文) till、until が副詞節を導くことに注意して読もう！

● We don't realize the value of health [until we are taken ill.]

S V O M M 従接 S' V' C'

(私たちは、[病気になるまで]健康のありがたさに気付かない。)

- He waited and waited, [until he finally gave up.]
S V M 従接 S' M' V'
(彼は待ちに待ったが、ついにあきらめた。)

*この構文では、必ず until (till) の前にコンマがついている。

⑤ as soon as 「～するとすぐに」

(例文) as soon as が副詞節を導くことに注意して読もう！

- [As soon as he came home], he started watching TV.
M 従接 S' V' M' S V O
(彼は[帰宅するやいなや]テレビを見始めた。)

⑥ by the time 「～するまでに」

(例文) by the time が副詞節を導くことに注意して読もう！

- I must finish my homework [by the time he comes home.]
S V O M 従接 S' V' M'
([彼が帰ってくるまでに]私は、宿題を終えなければいけない。)

《警告》

by the time と till (until) とを混同しないように。 by the time は「～するまでに」という意味の接続詞なので、『継続的動作を表わす動詞』と一緒に使えず、『一瞬の動作を表わす動詞』と一緒に使う。それに対して till (until) は「～まで(ずっと)」の意味の接続詞なので、『継続的動作を表わす動詞』と一緒に使い、『一瞬の動作を表わす動詞』と一緒に使えない。

(例文)

《継続動作》

× I worked [by the time it got dark.]

S V M 従接 S' V' C'

(私は[暗くなるまでに]働いた。)

《瞬間動作》

○ I finished working [by the time it got dark.]

S V O M 従接 S' V' C'

(私は[暗くなるまでに]働き終えた。)

《継続動作》

○ I worked [until (till) it got dark.]

S V M 従接 S' V' C'

(私は[暗くなるまで(ずっと)]働いた。)

《瞬間動作》

× I finished working [until (till) it got dark.]


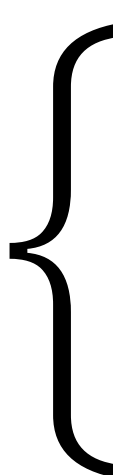
S V O M 従接 S' V' C'

(私は[暗くなるまで(ずっと)]働き終えた。)

《警告》

by 名詞「名詞までに」と till (until) 名詞「名詞までずっと」とを混同しないように。 by は「名詞までに」という意味の前置詞なので、『継続的動作を表わす動詞』と一緒に使えず、『一瞬の動作を表わす動詞』と一緒に使う。それに対して till (until) 名詞は「名詞まで (ずっと)」の意味の前置詞なので、『継続的動作を表わす動詞』と一緒に使い、『一瞬の動作を表わす動詞』と一緒に使えない。

(例文)

- 
- 《継続的動作》
× I worked [by noon.]
S V M
(私は[正午までに]働いた。)
- 《瞬間的動作》
○ I finished working [by noon.]
S V O M
(私は[正午までに]働き終えた。)
- 
- 《継続的動作》
○ I worked [until (till) noon.]
S V M
(私は[正午まで (ずっと)]働いた。)
- 《瞬間的動作》
× I finished working [until (till) noon.]
S V O M
(私は[正午まで (ずっと)]働き終えた。)

⑦ every time 「～するときはいつも」

(例文) every time が副詞節を導くことに注意して読もう！

- [Every time I read this book], I make a new discovery.

M 従接 S' V' O' S V O

([この本を読むときはいつも]新しい発見がある。)

⑧ each time 「～する度に」

(例文) each time が副詞節を導くことに注意して読もう！

- [Each time I solved one problem], I came across a new one.

M 従接 S' V' O' S V O

([一つの問題を解決する度に]新たな問題にぶつかった。)

⑨ next time 「次に～するころには」

(例文) next time が副詞節を導くことに注意して読もう！

- [Next time you come to Tokyo], please call me.

M 従接 S' V' O' M V O

([今度東京へ来られる時は]電話してきてください。)

⑩ once 「いったん～すれば」

(例文) once が副詞節を導くことに注意して読もう！

- [Once you have fully formed bad habits], they are hard to get rid of .
- M 従接 S' V' O' S V C M

(いったん悪い癖がついてしまうと]直すのは難しい。)